

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002001	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(フライングディスク)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中垣内 真樹			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中垣内 真樹			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中垣内 真樹			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) /Object Student	E5・E6			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gaichi@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	医学部保健学科体育館2F中垣内研究室			
担当教員TEL/Tel	095-819-7966			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 10:30～12:30、16:00～17:00			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる			
授業到達目標/Goal	フライングディスクを正確に投げることができる。アルティメットのルールや戦術を理解し(説明でき)、チーム(個々の技能)の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと話し、ゲームを実践することができる。			
授業方法(学習指導法)/Method	ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。			
授業内容/Class outline/Con	フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は使わない 参考書：フライングディスクのすすめ (編)日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度50% 技能テスト30% 集団技能(ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する)20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況を評価する。			
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	4月6日 オリエンテーション(授業のすすめ方 ねらい)			
第2回	4月13日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンスロー			
第3回	4月20日 基本スローの習得 バックハンスロー			
第4回	4月27日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム：アキュラシー			
第5回	5月11日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム：ドッチビー			
第6回	5月18日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム：ボートボールのルールでのゲーム			
第7回	5月25日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得			
第8回	6月1日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得			

第9回	6月8日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
第10回	6月15日 ライニングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
第11回	6月22日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
第12回	6月29日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
第13回	7月6日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
第14回	7月13日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ
第15回	7月27日 技術テスト 自身の技術の向上を確認
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002002	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ソフトボール・ソフトバレーボール)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	峰松 和夫			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	峰松 和夫			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	峰松 和夫			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) /Object Student	E 5・E 6			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日12:00～14:00			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。			
授業到達目標/Goal	ソフトボールでは、投げる、捕る、打つの基本動作を身に付けて、チームの一員としてゲームに参加できる。ソフトバレーボールでは、パス、レシーブ、トス、サーブ、アタックの基本動作を身に付けて、チームとしてラリーを継続することができる。自分のポジションの役割を理解したうえで、周りのプレーヤーのバックアップができる。戦術について積極的に話し合い、チーム力を高めることができる。			
授業方法(学習指導法) /Method	ソフトボールとソフトバレーボールの2つの球技を題材として、それぞれの種目の持つ特性を理解し、基本技術を身に付ける。ゲームを中心に行い、チームで考えた発展的な技術や戦術がゲームで行えるようにする。生涯スポーツとして取り組める内容とする。			
授業内容/Class outline/Con	地域や団体でのレクリエーション活動で広く行われているスポーツを取り上げて、それを行える知識・技術・コミュニケーション能力を獲得・育成し、生涯にわたって実践できる能力を身に付けていく。			
キーワード/Key word	生涯スポーツ、球技			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。下記は授業前に目を通しておくこと。「楽しいソフトバレーボール(日本バレーボール協会)」「学校体育ソフトボールガイドブック(日本ソフトボール協会)」			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極性・参加態度(50%)、チームとしての集団技能評価(25%)、個人技能評価(25%)。欠席が3回以上の者は失格とする。			
受講要件(履修条件) /Requirements	ソフトバレーボールおよび雨天時の屋内種目実施時、裸足での参加は認めない。			
学生へのメッセージ/Message for students	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	オリエンテーション(授業の進め方の説明、チーム編成)			
第2回	ソフトボールの基礎的技術の習得(投げる、捕る、打つ)			
第3回	チームによる基礎的技術の練習(投げる、捕る、打つ)			
第4回	ソフトボールのゲーム			
第5回	ソフトボールのゲーム			
第6回	ソフトボールのゲーム			
第7回	ソフトボールのゲーム			
第8回	ソフトボールの技能評価			
第9回	ソフトバレーボールの基礎的技術の習得(パス、レシーブ、トス、サーブ)			
第10回	チームによる基礎的技術の練習(パス、レシーブ、トス、サーブ、アタック)			
第11回	ソフトバレーボールのゲーム			
第12回	ソフトバレーボールのゲーム			
第13回	ソフトバレーボールのゲーム			

第14回	ソフトバレーボールのゲーム
第15回	ソフトバレーボールの技術評価
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002003	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 志保		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	E5・E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館 2 F 体育教員室		
担当教員TEL/Tel	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週月曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法(学習指導法) /Method	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容/Class outline/Con	本授業では、ダンス(主にストリートダンス)の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチと筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それまでに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作品を発表する。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は用いない。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の積極的な態度(40%)、技能テスト(30%)、定期試験(30%)を総合的に考慮して評価する。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(授業の進め方、注意事項等の説明)		
第2回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第3回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第4回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第5回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第6回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第7回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、技能テスト		
第8回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作(グループ分け、創作のすすめ方等の説明)		
第9回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第10回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第11回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第12回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第13回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		

第14回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第15回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第16回	定期試験（創作作品発表）

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 4
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002004	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(フライングディスク)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中垣内 真樹			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中垣内 真樹			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中垣内 真樹			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) /Object Student	E1～E4			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gaichi@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	医学部保健学科体育館2F中垣内研究室			
担当教員TEL/Tel	095-819-7966			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 10:30～12:30、16:00～17:00			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる			
授業到達目標/Goal	フライングディスクを正確に投げることができる。アルティメットのルールや戦術を理解し(説明でき)、チーム(個々の技能)の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと話し、ゲームを実践することができる。			
授業方法(学習指導法) /Method	ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。			
授業内容/Class outline/Con	フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は使わない 参考書：フライングディスクのすすめ (編)日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度50% 技能テスト30% 集団技能(ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する)20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況を評価する。			
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	4月6日 オリエンテーション(授業のすすめ方 ねらい)			
第2回	4月13日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンスロー			
第3回	4月20日 基本スローの習得 バックハンスロー			
第4回	4月27日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム：アキュラシー			
第5回	5月11日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム：ドッチビー			
第6回	5月18日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム：ボートボールのルールでのゲーム			
第7回	5月25日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得			
第8回	6月1日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得			

第9回	6月8日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
第10回	6月15日 ライニングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
第11回	6月22日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
第12回	6月29日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
第13回	7月6日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
第14回	7月13日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ
第15回	7月27日 技術テスト 自身の技術の向上を確認
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 4
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002005	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(バドミントン・テニス)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	飛奈 卓郎			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	飛奈 卓郎			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	飛奈 卓郎			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) /Object Student	E 1～E 4			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tobitaku@sun.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2F体育教官室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。			
授業到達目標/Goal	バドミントンとテニスのゲーム楽しむための技術を身につけるとともに、ルールを理解して自分たちでゲームを進めることができるようになる。仲間とコミュニケーションを取りながらゲーム進行・運営ができるようになる。			
授業方法(学習指導法) /Method	バドミントンとテニスという手軽に行うことができる種目を題材として、基本技術をルールを学び、戦略を考え、スポーツを楽しむ能力を身につけることをねらいとする。			
授業内容/Class outline/Con	バドミントン・テストともに基礎技術を修得し、ルールを理解することでゲーム展開と運営ができるようにする。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	必要に応じて関係する資料を配布する。			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への積極的な参加態度(70%)、定期試験(30%)。欠席が3回以上の者は失格とする。			
学生へのメッセージ/Message for students	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	4月6日 オリエンテーション			
第2回	4月13日 バドミントンのルールと基本的な技術を学ぶ			
第3回	4月20日 バドミントンのゲーム(シングルス)			
第4回	4月27日 バドミントンのゲーム(シングルス)			
第5回	5月11日 バドミントンのゲーム(シングルス)			
第6回	5月18日 バドミントンのゲーム(ダブルス)			
第7回	5月25日 バドミントンのゲーム(ダブルス)			
第8回	6月1日 バドミントンのゲーム(ダブルス)			
第9回	6月8日 テニスのルールと基本的な技術を学ぶ			
第10回	6月15日 テニスのゲーム(シングルス)			
第11回	6月22日 テニスのゲーム(シングルス)			
第12回	6月29日 テニスのゲーム(シングルス)			
第13回	7月6日 テニスのゲーム(ダブルス)			
第14回	7月13日 テニスのゲーム(ダブルス)			
第15回	7月27日 テニスのゲーム(ダブルス)			
第16回	定期試験			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 4
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002006	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ダンス入門)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 志保			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 志保			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 志保			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) /Object Student	E1-E4			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館 2 F 体育教員室			
担当教員TEL/Tel	095-847-7568			
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週月曜日12:30-12:50			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体活動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことができる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格する。			
授業到達目標/Goal	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。			
授業方法(学習指導法) /Method	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。			
授業内容/Class outline/Con	本授業では、ダンス(主にストリートダンス)の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチと筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それまでに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作品を発表する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は用いない。			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の積極的な態度(40%)、技能テスト(30%)、定期試験(30%)を総合的に考慮して評価する。			
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体的に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	オリエンテーション(授業の進め方、注意事項等の説明)			
第2回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付			
第3回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付			
第4回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付			
第5回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付			
第6回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付			
第7回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、技能テスト			
第8回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作(グループ分け、創作のすすめ方等の説明)			
第9回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作			
第10回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作			
第11回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作			
第12回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作			
第13回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作			
第14回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作			

第15回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第16回	定期試験（創作作品発表）

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002007	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(バレーボール・バドミントン)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	熊野 晃三			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	熊野 晃三			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	熊野 晃三			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) /Object Student	L 1～L 4			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kumano@n-junshin.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2階(体育教室)			
担当教員TEL/Tel	095-846-0084			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:20～12:50			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。			
授業到達目標/Goal	獲得しようとする技術が、どのように構成されているかということのを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していく。 獲得した技能をできるだけ試合の中で実践できるように努めていく。 技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養う。			
授業方法(学習指導法) /Method	体育館を中心に、各種目についての解説、ならびに技術習得を行う。 習得した技能を活かしながら、積極的にそれらが発現できるような試合を展開していく。			
授業内容/Class outline/Con	基本的なレクリエーションワークを実践する。 バレーボールのスパイク技術を習得する。スパイクを交えたゲームが展開できるようにする。 バドミントンの基本的なルールおよび技術を習得する。戦術を意識したゲームが展開できるようにする。 リーグ戦の対戦表が完成できるようにする。			
キーワード/Key word	生涯スポーツ、合理的な技術習得、スポーツ文化			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教材 : 必要に応じて授業計画にそったプリントを配布する			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への取り組み方、および態度 : 20% 実技試験 : 40% 筆記試験 : 40% 全授業への出席を原則とし、実技試験、授業への参加状況、筆記試験などによって総合的に評価する。 ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。			
受講要件(履修条件) /Requirements	演習では、指定したユニフォームは特にはないが、動き易いスポーツウェアに着替えて出席すること。 屋内での授業実施に際しては、必ず、屋内用の体育館シューズを準備しておくこと。 イヤリングなどの装飾品は、はずしておくこと。			
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	4月7日 オリエンテーション (コース別演習のコース決定など)			
第2回	4月14日 演習1(レクリエーション)レクリエーションワークの解説と実習			
第3回	4月21日 演習2(バレーボール)技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス			
第4回	4月28日 演習3 " アンダーハンドパス、スパイク			

第5回	5月12日	演習4	"	スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム
第6回	5月19日	演習5	"	異質グループによるゲーム
第7回	5月26日	演習6	"	異質グループによるゲーム
第8回	6月2日	演習7	"	ソフトバレーボール
第9回	6月9日	演習8	(バドミントン)	解説と基本ストローク
第10回	6月16日	演習9	"	シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦
第11回	6月23日	演習10	"	等質グループによるリーグ戦
第12回	6月30日	演習11	"	等質グループによるリーグ戦
第13回	7月7日	演習12	"	等質グループによるリーグ戦
第14回	7月14日	演習13	"	ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦
第15回	7月21日	演習14	"	等質グループによるリーグ戦
第16回	7月28日	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002008	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(テニス・卓球他)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山内 正毅			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山内 正毅			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山内 正毅			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) / Object Student	L 1～L 4			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamauchi@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館 1 階109			
担当教員TEL/Tel	095-819-2356			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜3校時			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる			
授業到達目標/Goal	・教材として取り上げた体づくり運動やスポーツの技能の自立的な実践方法を獲得する。 ・運動・スポーツと健康との関わりを理解し、運動量と主観的運動強度、心拍数(HR)、エネルギー消費量等の関係を自覚する。			
授業方法(学習指導法) /Method	硬式テニスや卓球を教材としてラケットスポーツの特徴を知り、楽しさや技能を獲得するとともに、ウォーキングやジョギングを含めて運動量と自分の体力との関係を知る。半期を通じて運動・スポーツとからだや健康に関する教養教育を行う。 テニス、卓球等の学習内容は天候や場所の都合で順序が変更になる場合がある。			
授業内容/Class outline/Con	現代社会における心身のコンディショニングの重要性やメカニズムを理解し、それらに対する運動やスポーツの関わり方、実践方法などを硬式テニスや卓球の教材を用いて演習する。			
キーワード/Key word	テニス、卓球、主観的運動強度、QOL			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	必要な資料はプリントして配布する。			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への参加状況と取り組みの意欲(50%)、技術の上達(10%)、理解度(最後にレポートの提出、40%)など総合的に評価する。ただし、全期間の欠席が2回を越える場合には原則として失格となる。			
受講要件(履修条件) /Requirements	服装等、ルールに従い、クラスの成員と協力しあうこと。体調を自己管理し、欠席しなくていいようにすることも本授業の内容にかかわってくるのでこの点も注意すること。			
学生へのメッセージ/Message for students	学生へのメッセージ：授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	オリエンテーション			
第2回	自分の体力を知る。運動強度の変化(例、通常の歩行スピード、速歩、軽いジョギング)によって、心拍数、主観的運動強度、エネルギー消費量、などがどのように変化するかを測定、記録する。以後数回、心拍数やエネルギー消費量を測定し、その各自のデータをもとにレポートを提出する。			
第3回	卓球(屋内)技能チェック 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ			
第4回	卓球(屋内)(カロリーカウンター 使用) 練習計画を立て、卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ			

第5回	卓球（屋内） 練習計画を立て、卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
第6回	卓球（屋内） 練習計画を立て、卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
第7回	卓球（屋内）（カロリーカウンター 使用） 練習計画を立て、卓球の基本的な技能を学習しながらゲームができるようにする。運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
第8回	卓球（屋内）技能チェック 練習計画を立て、卓球の基本的な技能を学習しながらゲームができるようにする。
第9回	テニス（演習、実技）（カロリーカウンター 使用） テニスの基本的なマナーやルールを知り、ラケットやボールのコントロールに慣れる。自分の技能レベルの確認 技能チェック
第10回	テニス（演習、実技） テニスの基本的な技能を学習する。ボールの位置とプレーヤーの位置関係、腕の延長であるラケットとボールとの位置感覚、ダイレクトでボールを捕らえる感覚とワンバウンドでボールをとらえる感覚の違いを身につける カロリーカウンターによるエネルギー消費量の測定
第11回	テニス（演習、実技） フォアハンド、バックハンドストロークの連続した動きを確認し、学習する
第12回	テニス（演習、実技） フォアハンド、バックハンドストロークの連続した動きを確認し、ボレーの技術を学習する カロリーカウンターによるエネルギー消費量の測定
第13回	テニス（演習、実技） サーブとそのレシーブ、スマッシュの動きを学習する ゲームへ挑戦
第14回	テニス（演習、実技） サーブとそのレシーブ、スマッシュの動きを学習する ゲームへ挑戦
第15回	テニス（演習、実技） ゲームの組み立て、動きを考えて試合をする
第16回	技能チェックと総合評価

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002009	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(アルティメット・ソフトバレー)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	飛奈 美耶子			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	飛奈 美耶子			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	飛奈 美耶子			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) /Object Student	L 1～L 4			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tobimiyako@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2F体育教官室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。			
授業到達目標/Goal	アルティメット・ソフトバレーの基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。			
授業方法(学習指導法) /Method	アルティメットとソフトバレーの基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展・戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。			
授業内容/Class outline/Con				
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方 20% 筆記試験及び技術の上達度 30% ただし、欠席が3回以上の者は失格とする。			
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	オリエンテーション			
第2回	フライングディスクの基本動作の習得			
第3回	フライングディスクの基本動作の習得			
第4回	フライングディスクの基本動作の習得			
第5回	アルティメットのミニゲーム			
第6回	アルティメットチーム対抗戦			
第7回	アルティメットチーム対抗戦			
第8回	アルティメットチーム対抗戦			
第9回	ソフトバレーの基本動作の習得			
第10回	ソフトバレーの基本動作の習得			
第11回	ソフトバレーの基本動作の習得			
第12回	ソフトバレーのゲーム			
第13回	ソフトバレーチーム対抗戦			
第14回	ソフトバレーチーム対抗戦			
第15回	ソフトバレーチーム対抗戦			
第16回	筆記試験			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002010	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(バレーボール・バドミントン)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	熊野 晃三			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	熊野 晃三			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	熊野 晃三			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) /Object Student	L 5・L 6・P 1・P 2			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kumano@n-junshin.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館 2 階(体育教室)			
担当教員TEL/Tel	095-846-0084			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12：20～12：50			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。			
授業到達目標/Goal	獲得しようとする技術が、どのように構成されているかということのを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していく。 獲得した技能をできるだけ試合の中で実践できるように努めていく。 技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養う。			
授業方法(学習指導法) /Method	体育館を中心に、各種目についての解説、ならびに技術習得を行う。 習得した技能を活かしながら、積極的にそれらが発現できるような試合を展開していく。			
授業内容/Class outline/Con	基本的なレクリエーションワークを実践する。 バレーボールのスパイク技術を習得する。スパイクを交えたゲームが展開できるようにする。 バドミントンの基本的なルールおよび技術を習得する。戦術を意識したゲームが展開できるようにする。 リーグ戦の対戦表が完成できるようにする。			
キーワード/Key word	生涯スポーツ、合理的な技術習得、スポーツ文化			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教材：必要に応じて授業計画にそったプリントを配布する			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への取り組み方、および態度：20％ 実技試験：40％ 筆記試験：40％ 全授業への出席を原則とし、実技試験、授業への参加状況、筆記試験などによって総合的に評価する。 ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。			
受講要件(履修条件) /Requirements	演習では、指定したユニフォームは特にはないが、動き易いスポーツウェアに着替えて出席すること。 屋内での授業実施に際しては、必ず、屋内用の体育館シューズを準備しておくこと。 イヤリングなどの装飾品は、はずしておくこと。			
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	4月7日 オリエンテーション (コース別演習のコース決定など)			
第2回	4月14日 演習1(レクリエーション)レクリエーションワークの解説と実習			
第3回	4月21日 演習2(バレーボール)技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス			
第4回	4月28日 演習3 " アンダーハンドパス、スパイク			

第5回	5月12日	演習4	"	スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム
第6回	5月19日	演習5	"	異質グループによるゲーム
第7回	5月26日	演習6	"	異質グループによるゲーム
第8回	6月2日	演習7	"	ソフトバレーボール
第9回	6月9日	演習8	(バドミントン)	解説と基本ストローク
第10回	6月16日	演習9	"	シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦
第11回	6月23日	演習10	"	等質グループによるリーグ戦
第12回	6月30日	演習11	"	等質グループによるリーグ戦
第13回	7月7日	演習12	"	等質グループによるリーグ戦
第14回	7月14日	演習13	"	ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦
第15回	7月21日	演習14	"	等質グループによるリーグ戦
第16回	7月28日	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002011	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(サッカー)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 浩二		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 浩二		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 浩二		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	L 5・L 6、P 1・P 2		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部・本館 1 1 0 研究室		
担当教員TEL/Tel	2 3 5 8		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前予約のこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化, ルール, 技術を習得し, 生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ, 実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが, 内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	・自己及びチームの課題を発見し, 練習計画表を作成することができる。 ・ルールや戦術を理解し, チームや個々の技能の特性を生かしてゲームができる戦術を考えることができる。 ・チームメイトと討論し, 自己及びチームの課題を計画表として作成し, 練習及びゲームを実践することができる。		
授業方法(学習指導法) /Method	・このクラスでは, サッカーの知識・理論を学習し, 技術・戦術を実践的に習得するが, ための思考能力と方法的能力を育成する。授業は男女共習のチーム学習の形態で行い, チームごとに学習内容を「計画」し「実践」する。その後「ふりかえり」を行い, チーム内での課題の発見とその解決について検討する。 ・毎時間チームごとに学習内容を計画しながら実践する。計画した内容をゲーム等で実践することによって, サッカーの基礎的技術を習得し, ルールや戦術の理解を深める。受講者にはチームや自己に対する理性的な評価・批判と主体的な態度・意欲が求められる。授業ごとに毎回作成される計画表は, 授業後に提出し, 評価を受けた後に次回の立案者に渡される。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	スポーツ文化としてのサッカー, 他者との運動実践, 行為的省察		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	以下の割合で総合的に評価し, 6 0 %以上の評点を合格とする。 欠席が3回以上の者, 試験を受験しない者は失格とする。 (評価の割合) 授業に対する積極的な取り組み 1 0 % 計画表 2 5 % 個人技能・集団技能(練習やゲームの内容をチーム毎に評価する) 2 5 % 筆記試験 4 0 %		
受講要件(履修条件) /Requirements			
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう, チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう, 楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(クラス分け)		
第2回	グルーピング, 授業展開方法の説明, 軽度の運動		
第3回	グループ学習 1 (準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) ・ボールフィーリング(タッチ・リフト・ターン)の学習		

第4回	グループ学習 2（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・ドリブル及びシュートの学習
第5回	グループ学習 3（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・トラップ及びルール（オフサイド）の学習
第6回	グループ学習 4（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・キック三種（インサイド、インステップ、アウトサイド）の学習 ・パス（1対1，多対多）の学習
第7回	グループ学習 5（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・オフENSE及びディフェンス（1対1）の学習
第8回	グループ学習 6（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・オフENSE及びディフェンス（2対1，2対2）の学習
第9回	グループ学習 7（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・オフENSE及びディフェンス（3人以上対3人以上）の学習
第10回	グループ学習 8（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・チームで採用する戦術の学習
第11回	グループ学習 9（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・チームで採用する戦術の学習
第12回	グループ学習 10（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・チームに必要な技術の強化
第13回	グループ学習 11（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・チームに必要な技術の強化
第14回	グループ学習 12（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・総合的な練習
第15回	グループ学習 13（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・総合的な練習
第16回	試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002012	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(卓球・ソフトバレー)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	飛奈 美耶子		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	L 5、L 6、P 1、P 2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tobimiyako@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2F体育教官室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	卓球・ソフトバレーの基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。		
授業方法(学習指導法) /Method	卓球とソフトバレーの基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展・戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方 20% 筆記試験及び技術の上達度 30% ただし、欠席が3回以上の者は失格とする。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	卓球の各ショットの習得		
第3回	卓球の各ショットの習得		
第4回	卓球のダブルスゲーム		
第5回	卓球のシングルスゲーム		
第6回	卓球チーム対抗戦		
第7回	卓球チーム対抗戦		
第8回	卓球チーム対抗戦		
第9回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第10回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第11回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第12回	ソフトバレーのゲーム		
第13回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第14回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第15回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第16回	筆記試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002013	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(球技スポーツ)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤木 賢二			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤木 賢二			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤木 賢二			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) /Object Student	D1・D2、F1～F3			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2F(体育教官室)			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお、3回欠席すると、原則的に失格になる。			
授業到達目標/Goal	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。			
授業方法(学習指導法) /Method	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。			
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要) ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度 40%、チームへの貢献 10%、技術上達 10%、試験(運動効果の理解30%、ルール等の理解10%)。 全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。			
受講要件(履修条件) /Requirements				
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	4月8日 オリエンテーション(種目の決定、授業の概要説明など)			
第2回	4月15日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習			
第3回	4月22日 ソフトボール ゲーム			
第4回	5月13日 ソフトボール ゲーム			
第5回	5月20日 ソフトボール ゲーム			
第6回	5月27日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク(フォアハンド、バックハンド)			
第7回	6月3日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ			
第8回	6月10日 テニス ゲーム(ダブルス)			
第9回	6月17日 テニス ゲーム(ダブルス、シングルス)			
第10回	6月24日 テニス ゲーム(シングルス)			
第11回	7月1日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム			
第12回	7月8日 サッカー ゲーム			
第13回	7月15日 サッカー ゲーム			

第14回	7月22日 サッカー ゲーム
第15回	7月29日 サッカー ゲーム
第16回	8月5日 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002014	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(バドミントン・バレーボール)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	府内 勇希		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	D 1・D 2、F 1～F 3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館(2 階体育教員室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	(バレーボール) 基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 (バドミントン) 基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせでシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業方法(学習指導法) /Method	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業内容/Class outline/Con	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。 バレーボールとバドミントンの順序が変わる可能性があります。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキストは使用しない。必要に応じて資料や視聴覚教材を使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度：40%、技能評価30%、定期試験30%		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム		
第3回	バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム		
第4回	バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム		
第5回	バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム		
第6回	アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール		
第7回	アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール		
第8回	バレーボール：ゲームと技能評価		
第9回	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム		
第10回	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム		
第11回	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム		
第12回	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム		
第13回	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン		
第14回	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン		
第15回	バドミントン：ゲームと技能評価		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002015	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(バスケットボール・卓球)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小原 達朗			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小原 達朗			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小原 達朗			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) /Object Student	D 1・D 2、F 1～F 3			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	labo@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	教育学部252室			
担当教員TEL/Tel	095-819-2294			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日17:00～17:45			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯のわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格となる。			
授業到達目標/Goal	演習で取り上げた課題を理解し、実践できること、バスケットと卓球のスポーツ実践が受講者間で支障なくできること。			
授業方法(学習指導法) /Method	本授業では、スポーツの実践とスポーツを行う身体についてレクチャー及び演習をとおしてりかいすることを目指している。従って、授業の前段の演習と後段のスポーツ実践によって進める。			
授業内容/Class outline/Con	バスケットと卓球のルールや基本技術・戦術を理解し、技能の向上が図れるように毎時間評価を加えながら実践的に実施する。基本的にはチームやパートに分かれてゲームを中心に実施する。			
キーワード/Key word	体力増進、健康維持、スポーツ、実践方法			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は不要。必要に応じて資料を配布する。			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	1.授業に対する積極的な参加度(配点60%) 2.演習の内容が実践的に到達目標に達していること(配点20%) 3.平常の活動の評価(配点20%) 4.欠席が3回以上の者は失格とする			
受講要件(履修条件) /Requirements	特になし			
学生へのメッセージ/Message for students	授業に出る場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	4月8日 オリエンテーション、班分け、ねらい、授業方法、チーム編成			
第2回	4月15日 ストレッチ法、バスケット(プレマッチ)、チーム再編成			
第3回	4月22日 バスケット(リーグ戦1回目)			
第4回	5月13日 バスケット(リーグ戦2回目)			
第5回	5月20日 バスケット(リーグ戦3回目)			
第6回	5月27日 バスケット(リーグ戦4回目)			
第7回	6月3日 バスケット(リーグ戦5回目)			
第8回	6月10日 バスケット(リーグ戦6回目)			
第9回	6月17日 卓球(プレマッチ)			
第10回	6月24日 卓球(リーグ戦1回目)			
第11回	7月1日 卓球(リーグ戦2回目)			
第12回	7月8日 卓球(リーグ戦3回目)			

第13回	7月15日 卓球（リーグ戦4回目）
第14回	7月22日 卓球（リーグ戦5回目）
第15回	7月29日 卓球（ダブルス）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002016	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(球技スポーツ)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤木 賢二			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤木 賢二			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤木 賢二			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) / Object Student	M6、T7～T10			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2F(体育教官室)			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお、3回欠席すると、原則的に失格になる。			
授業到達目標/Goal	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。			
授業方法(学習指導法) / Method	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。			
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要) ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度 40%、チームへの貢献 10%、技術上達 10%、試験(運動効果の理解30%、ルール等の理解10%)。 全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。			
受講要件(履修条件) / Requirements				
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	4月8日 オリエンテーション(種目の決定、授業の概要説明など)			
第2回	4月15日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習			
第3回	4月22日 ソフトボール ゲーム			
第4回	5月13日 ソフトボール ゲーム			
第5回	5月20日 ソフトボール ゲーム			
第6回	5月27日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク(フォアハンド、バックハンド)			
第7回	6月3日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ			
第8回	6月10日 テニス ゲーム(ダブルス)			
第9回	6月17日 テニス ゲーム(ダブルス、シングルス)			
第10回	6月24日 テニス ゲーム(シングルス)			
第11回	7月1日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム			
第12回	7月8日 サッカー ゲーム			
第13回	7月15日 サッカー ゲーム			

第14回	7月22日 サッカー ゲーム
第15回	7月29日 サッカー ゲーム
第16回	8月5日 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002017	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(バドミントン・バレーボール)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	府内 勇希		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M 6、T 7～T 10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館(2階体育教員室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	(バレーボール) 基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 (バドミントン) 基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせでシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業方法(学習指導法) /Method	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業内容/Class outline/Con	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。 バレーボールとバドミントンの順序が変わる可能性があります。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキストは使用しない。必要に応じて資料や視聴覚教材を使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度：40%、技能評価30%、定期試験30%		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム		
第3回	バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム		
第4回	バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム		
第5回	バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム		
第6回	アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール		
第7回	アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール		
第8回	バレーボール：ゲームと技能評価		
第9回	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム		
第10回	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム		
第11回	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム		
第12回	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム		
第13回	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン		
第14回	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン		
第15回	バドミントン：ゲームと技能評価		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002018	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 志保		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M6,T7-T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館 2 F 体育教員室		
担当教員TEL/Tel	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週水曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法(学習指導法) /Method	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容/Class outline/Con	本授業では、ダンス(主にストリートダンス)の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチと筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それまでに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作品を発表する。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は用いない。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の積極的な態度(40%)、技能テスト(30%)、定期試験(30%)を総合的に考慮して評価する。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(授業の進め方、注意事項等の説明)		
第2回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第3回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第4回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第5回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第6回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第7回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、技能テスト		
第8回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作(グループ分け、創作のすすめ方等の説明)		
第9回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第10回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第11回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第12回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第13回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		

第14回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第15回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第16回	定期試験（創作作品発表）

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002019	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(球技スポーツ)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤木 賢二			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤木 賢二			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤木 賢二			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) /Object Student	M1～M3、T1・T2			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2F(体育教官室)			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお、3回欠席すると、原則的に失格になる。			
授業到達目標/Goal	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。			
授業方法(学習指導法) /Method	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。			
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要) ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度 40%、チームへの貢献 10%、技術上達 10%、試験(運動効果の理解30%、ルール等の理解10%)。 全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。			
受講要件(履修条件) /Requirements				
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	4月8日 オリエンテーション(種目の決定、授業の概要説明など)			
第2回	4月15日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習			
第3回	4月22日 ソフトボール ゲーム			
第4回	5月13日 ソフトボール ゲーム			
第5回	5月20日 ソフトボール ゲーム			
第6回	5月27日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク(フォアハンド、バックハンド)			
第7回	6月3日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ			
第8回	6月10日 テニス ゲーム(ダブルス)			
第9回	6月17日 テニス ゲーム(ダブルス、シングルス)			
第10回	6月24日 テニス ゲーム(シングルス)			
第11回	7月1日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム			
第12回	7月8日 サッカー ゲーム			
第13回	7月15日 サッカー ゲーム			

第14回	7月22日 サッカー ゲーム
第15回	7月29日 サッカー ゲーム
第16回	8月5日 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002020	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(バドミントン・バレーボール)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	府内 勇希		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M1～M3、T1・T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館(2階体育教員室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	(バレーボール) 基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 (バドミントン) 基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせでシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業方法(学習指導法) /Method	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業内容/Class outline/Con	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。 バレーボールとバドミントンの順序が変わる可能性があります。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキストは使用しない。必要に応じて資料や視聴覚教材を使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度：40%、技能評価30%、定期試験30%		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム		
第3回	バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム		
第4回	バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム		
第5回	バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム		
第6回	アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール		
第7回	アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール		
第8回	バレーボール：ゲームと技能評価		
第9回	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム		
第10回	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム		
第11回	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム		
第12回	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム		
第13回	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン		
第14回	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン		
第15回	バドミントン：ゲームと技能評価		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002021	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ダンス)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	河合 史菜		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	河合 史菜		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	河合 史菜		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M1～M3,T1・T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fuminakawai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育本館108研究室		
担当教員TEL/Tel	2355(内線)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前に相談すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	ダンスの基礎的な身体の使い方を理解し、人と関わることや踊ることの楽しさを知ることができる。 様々な運動プログラムを通して健康・体力づくりの方法を理解し、継続して体を動かす習慣を身につけることができる。 最終的には授業内で習得した技法を生かして小作品創作に挑戦し、発表できるようにする。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業では、ストレッチ法を紹介しながら筋力・柔軟性アップを図ると共に、様々なダンスの基本テクニックを用いて他者と関わり踊る楽しさを体験する。また後半では振付を覚えて踊ることや、小作品を創作するなど表現する楽しさを味わう。		
授業内容/Class outline/Con	前半は呼吸を大切にしながら心身を整え、後半では多様なダンスに触れながら友達と関わり合い体を動かしていく。最終的には学んだ動きを組み合わせる、独自に動きを考えるなどして作品創作を行う。		
キーワード/Key word	ダンス、ストレッチ、創作		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	欠席が3回以上の者は失格とする。 授業に対する積極性40% 創作作品への取り組み、完成度 35% レポート15% その他表現力・創作能力など総合的に判断し評価する。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びダンスが身体に及ぼす影響などについてもそのつど説明する。 初心者・経験者大歓迎。他者を観察し、良い動き・面白い動きを積極的に発見しましょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	ストレッチ法とボディコントロール		
第3回	ストレッチ法とボディコントロール		
第4回	リズム系ダンスの基本テクニックやステップ		
第5回	リズム系ダンスの基本テクニックやステップ		
第6回	リズム系ダンスの基本テクニックやステップ		
第7回	コミュニケーションダンス		

第8回	コミュニケーションダンス
第9回	動きのレパートリーを増やそう～物を使ったダンス～
第10回	動きのレパートリーを増やそう～物を使ったダンス～
第11回	動きのレパートリーを増やそう～言葉を組み合わせて創るダンス～
第12回	グループ作品創作
第13回	グループ作品創作
第14回	グループ作品創作
第15回	グループ作品創作
第16回	グループ作品発表会

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002022	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ニュースポーツ)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	渡邊 勝平			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	渡邊 勝平			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	渡邊 勝平			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) /Object Student	M 5、T 3～T 6			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	choshu-wata@hotmail.co.jp			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2階体育教官室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:00～12:50			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。			
授業到達目標/Goal	スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。			
授業方法(学習指導法) /Method	様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。			
授業内容/Class outline/Con	これまでほとんど経験のない様々なニュースポーツの実践を行う。			
キーワード/Key word	ニュースポーツ・生涯スポーツ			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度(60%) 筆記試験(40%) 全期間の欠席が3回以上の場合は原則的に失格となる。			
受講要件(履修条件) /Requirements				
学生へのメッセージ/Message for students	授業出席時は少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。 これまでにほとんど経験のないと思われる様々なニュースポーツを体験し、生涯スポーツへ繋げていただければと思います。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	4月9日 オリエンテーション			
第2回	4月16日 アルティメット			
第3回	4月23日 アルティメット			
第4回	4月30日 アルティメット			
第5回	5月7日 アルティメット			
第6回	5月14日 グラウンドゴルフ			
第7回	5月21日 フットサル・キックベースボール			
第8回	5月28日 ラージボール卓球			
第9回	6月4日 インディアカ			
第10回	6月11日 インディアカ			
第11回	6月18日 インディアカ			
第12回	6月25日 ソフトバレー			
第13回	7月2日 ソフトバレー			

第14回	7月9日 ミニテニス
第15回	7月16日 ニュースポーツの考案
第16回	7月23日 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002023	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 志保		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M5,T3-T6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館 2 F 体育教員室		
担当教員TEL/Tel	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週木曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法(学習指導法) /Method	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容/Class outline/Con	本授業では、ダンス(主にストリートダンス)の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチと筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それまでに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作品を発表する。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は用いない。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の積極的な態度(40%)、技能テスト(30%)、定期試験(30%)を総合的に考慮して評価する。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(授業の進め方、注意事項等の説明)		
第2回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第3回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第4回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第5回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第6回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第7回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、技能テスト		
第8回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作(グループ分け、創作のすすめ方等の説明)		
第9回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第10回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第11回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第12回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第13回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		

第14回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第15回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第16回	定期試験（創作作品発表）

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002024	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(テニス・ソフトバレー)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	飛奈 美耶子			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	飛奈 美耶子			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	飛奈 美耶子			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) /Object Student	M 5、T 3～T 6			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tobimiyako@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2F体育教官室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。			
授業到達目標/Goal	テニス・ソフトバレーの基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。			
授業方法(学習指導法) /Method	テニスとソフトバレーの基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展・戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。			
授業内容/Class outline/Con				
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方 20% 筆記試験及び技術の上達度 30% ただし、欠席が3回以上の者は失格とする。			
学生へのメッセージ/Message for students	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	オリエンテーション			
第2回	テニスの各ショットの習得			
第3回	テニスの各ショットの習得			
第4回	テニスのダブルスゲーム			
第5回	テニスのシングルスゲーム			
第6回	テニスチーム対抗戦			
第7回	テニスチーム対抗戦			
第8回	テニスチーム対抗戦			
第9回	ソフトバレーの基本動作の習得			
第10回	ソフトバレーの基本動作の習得			
第11回	ソフトバレーの基本動作の習得			
第12回	ソフトバレーのゲーム			
第13回	ソフトバレーチーム対抗戦			
第14回	ソフトバレーチーム対抗戦			
第15回	ソフトバレーチーム対抗戦			
第16回	筆記試験			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002025	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ニュースポーツ)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	渡邊 勝平		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	渡邊 勝平		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	渡邊 勝平		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M 4、K 1～K 3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chosho-wata@hotmail.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2階体育教官室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:00～12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。		
授業方法(学習指導法) /Method	様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。		
授業内容/Class outline/Con	これまでほとんど経験のない様々なニュースポーツの実践を行う。		
キーワード/Key word	ニュースポーツ・生涯スポーツ		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度(60%) 筆記試験(40%) 全期間の欠席が3回以上の場合は原則的に失格となる。		
受講要件(履修条件) /Requirements			
学生へのメッセージ/Message for students	授業出席時は少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。 これまでにほとんど経験のないと思われる様々なニュースポーツを体験し、生涯スポーツへ繋げていただければと思います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月9日 オリエンテーション		
第2回	4月16日 アルティメット		
第3回	4月23日 アルティメット		
第4回	4月30日 アルティメット		
第5回	5月7日 アルティメット		
第6回	5月14日 グラウンドゴルフ		
第7回	5月21日 フットサル・キックベースボール		
第8回	5月28日 ラージボール卓球		
第9回	6月4日 インディアカ		
第10回	6月11日 インディアカ		
第11回	6月18日 インディアカ		
第12回	6月25日 ソフトバレー		
第13回	7月2日 ソフトバレー		

第14回	7月9日 ミニテニス
第15回	7月16日 ニュースポーツの考案
第16回	7月23日 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002026	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ダンス入門)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 志保			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 志保			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 志保			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) /Object Student	M4,K1-K3			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address				
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館 2 F 体育教員室			
担当教員TEL/Tel	095-847-7568			
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週木曜日12:30~12:50			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。			
授業到達目標/Goal	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。			
授業方法(学習指導法) /Method	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。			
授業内容/Class outline/Con	本授業では、ダンス(主にストリートダンス)の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチと筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それまでに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作品を発表する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は用いない。			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の積極的な態度(40%)、技能テスト(30%)、定期試験(30%)を総合的に考慮して評価する。			
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	オリエンテーション(授業の進め方、注意事項等の説明)			
第2回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付			
第3回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付			
第4回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付			
第5回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付			
第6回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付			
第7回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、技能テスト			
第8回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作(グループ分け、創作のすすめ方等の説明)			
第9回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作			
第10回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作			
第11回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作			
第12回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作			
第13回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作			

第14回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第15回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第16回	定期試験（創作作品発表）

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002027	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(テニス・ソフトバレー)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	飛奈 美耶子		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M 4、K 1～K 3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tobimiyako@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2F体育教官室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	テニス・ソフトバレーの基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。		
授業方法(学習指導法) /Method	テニスとソフトバレーの基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展・戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方 20% 筆記試験及び技術の上達度 30% ただし、欠席が3回以上の者は失格とする。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	テニスの各ショットの習得		
第3回	テニスの各ショットの習得		
第4回	テニスのダブルスゲーム		
第5回	テニスのシングルスゲーム		
第6回	テニスチーム対抗戦		
第7回	テニスチーム対抗戦		
第8回	テニスチーム対抗戦		
第9回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第10回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第11回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第12回	ソフトバレーのゲーム		
第13回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第14回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第15回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第16回	筆記試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002028	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(フライングディスク)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中垣内 真樹			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中垣内 真樹			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中垣内 真樹			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) /Object Student	G1～G3			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gaichi@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	医学部保健学科体育館2F中垣内研究室			
担当教員TEL/Tel	095-819-7966			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 10:30～12:30、16:00～17:00			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる			
授業到達目標/Goal	フライングディスクを正確に投げることができる。アルティメットのルールや戦術を理解し(説明でき)、チーム(個々の技能)の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと話し、ゲームを実践することができる。			
授業方法(学習指導法) /Method	ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。			
授業内容/Class outline/Con	フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は使わない 参考書：フライングディスクのすすめ (編) 日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度50% 技能テスト30% 集団技能(ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する)20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況を評価する。			
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	9月28日 オリエンテーション(授業のすすめ方 ねらい)			
第2回	10月5日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンスロー			
第3回	10月19日 基本スローの習得 バックハンスロー			
第4回	10月26日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム：アキュラシー			
第5回	11月2日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム：ドッチビー			
第6回	11月9日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム：ポートボールのルールでのゲーム			
第7回	11月16日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得			
第8回	11月30日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得			

第9回	12月7日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
第10回	12月14日 ライニングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
第11回	12月21日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
第12回	1月4日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
第13回	1月18日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
第14回	1月25日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ
第15回	2月1日 技術テスト 自身の技術の向上を確認
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002029	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 志保		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	G1-G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館 2 F 体育教員室		
担当教員TEL/Tel	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週月曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法(学習指導法) /Method	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容/Class outline/Con	本授業では、ダンス(主にストリートダンス)の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチと筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それまでに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作品を発表する。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は用いない。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の積極的な態度(40%)、技能テスト(30%)、定期試験(30%)を総合的に考慮して評価する。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(授業の進め方、注意事項等の説明)		
第2回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第3回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第4回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第5回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第6回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第7回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、技能テスト		
第8回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作(グループ分け、創作のすすめ方等の説明)		
第9回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第10回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第11回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第12回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第13回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		

第14回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第15回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第16回	定期試験（創作作品発表）

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002030	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ソフトボール・ソフトバレーボール)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	峰松 和夫			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	峰松 和夫			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	峰松 和夫			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) /Object Student	G 1～G 3			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日12:00～14:00			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。			
授業到達目標/Goal	ソフトボールでは、投げる、捕る、打つの基本動作を身に付けて、チームの一員としてゲームに参加できる。ソフトバレーボールでは、パス、レシーブ、トス、サーブ、アタックの基本動作を身に付けて、チームとしてラリーを継続することができる。自分のポジションの役割を理解したうえで、周りのプレーヤーのバックアップができる。戦術について積極的に話し合い、チーム力を高めることができる。			
授業方法(学習指導法) /Method	ソフトボールとソフトバレーボールの2つの球技を題材として、それぞれの種目の持つ特性を理解し、基本技術を身に付ける。ゲームを中心に行い、チームで考えた発展的な技術や戦術がゲームで行えるようにする。生涯スポーツとして取り組める内容とする。			
授業内容/Class outline/Con	地域や団体でのレクリエーション活動で広く行われているスポーツを取り上げて、それを行える知識・技術・コミュニケーション能力を獲得・育成し、生涯にわたって実践できる能力を身に付けていく。			
キーワード/Key word	生涯スポーツ、球技			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。下記は授業前に目を通しておくこと。 「楽しいソフトバレーボール(日本バレーボール協会)」「学校体育ソフトボールガイドブック(日本ソフトボール協会)」			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極性・参加態度(50%)、チームとしての集団技能評価(25%)、個人技能評価(25%)。欠席が3回以上の者は失格とする。			
受講要件(履修条件) /Requirements	ソフトバレーボールおよび雨天時の屋内種目実施時、裸足での参加は認めない。			
学生へのメッセージ/Message for students	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	オリエンテーション(授業の進め方の説明、チーム編成)			
第2回	ソフトボールの基礎的技術の習得(投げる、捕る、打つ)			
第3回	チームによる基礎的技術の練習(投げる、捕る、打つ)			
第4回	ソフトボールのゲーム			
第5回	ソフトボールのゲーム			
第6回	ソフトボールのゲーム			
第7回	ソフトボールのゲーム			
第8回	ソフトボールの技能評価			
第9回	ソフトバレーボールの基礎的技術の習得(パス、レシーブ、トス、サーブ)			
第10回	チームによる基礎的技術の練習(パス、レシーブ、トス、サーブ、アタック)			
第11回	ソフトバレーボールのゲーム			
第12回	ソフトバレーボールのゲーム			
第13回	ソフトバレーボールのゲーム			

第14回	ソフトバレーボールのゲーム
第15回	ソフトバレーボールの技術評価
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002031	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(フライングディスク)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中垣内 真樹		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中垣内 真樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中垣内 真樹		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	E1～E4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gaichi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	医学部保健学科体育館2F中垣内研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7966		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 10:30～12:30、16:00～17:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる		
授業到達目標/Goal	フライングディスクを正確に投げることができる。アルティメットのルールや戦術を理解し(説明でき)、チーム(個々の技能)の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと話し、ゲームを実践することができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。		
授業内容/Class outline/Con	フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は使わない 参考書：フライングディスクのすすめ (編) 日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度50% 技能テスト30% 集団技能(ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する)20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況を評価する。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月28日 オリエンテーション(授業のすすめ方 ねらい)		
第2回	10月5日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンスロー		
第3回	10月19日 基本スローの習得 バックハンスロー		
第4回	10月26日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム：アキュラシー		
第5回	11月2日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム：ドッチビー		
第6回	11月9日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム：ポートボールのルールでのゲーム		
第7回	11月16日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得		
第8回	11月30日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得		

第9回	12月7日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
第10回	12月14日 ライニングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
第11回	12月21日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
第12回	1月4日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
第13回	1月18日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
第14回	1月25日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ
第15回	2月1日 技術テスト 自身の技術の向上を確認
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002032	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 志保		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	E1-E4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館 2 F 体育教員室		
担当教員TEL/Tel	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週月曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法(学習指導法) /Method	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容/Class outline/Con	本授業では、ダンス(主にストリートダンス)の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチと筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それまでに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作品を発表する。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は用いない。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の積極的な態度(40%)、技能テスト(30%)、定期試験(30%)を総合的に考慮して評価する。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(授業の進め方、注意事項等の説明)		
第2回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第3回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第4回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第5回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第6回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第7回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、技能テスト		
第8回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作(グループ分け、創作のすすめ方等の説明)		
第9回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第10回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第11回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第12回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第13回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		

第14回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第15回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第16回	定期試験（創作作品発表）

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002033	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(バドミントン・ソフトバレー)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	飛奈 美耶子		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	E1～E4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tobimiyako@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2F体育教官室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる		
授業到達目標/Goal	バドミントン・ソフトバレーにおいて、ラリーを続けることができる。また、習得した個々の技能を活かし、ゲームの中でさまざまな状況に対応できる。		
授業方法(学習指導法) /Method	バドミントンとソフトバレーの基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展、戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加50% 授業への取り組み方20% 筆記試験及び技術の上達度30% ただし、欠席が3回以上の者は失格とする。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	バドミントンの各ショットの習得		
第3回	バドミントンの各ショットの習得		
第4回	バドミントンのシングルスゲーム		
第5回	バドミントンのダブルスゲーム		
第6回	バドミントンチーム対抗戦		
第7回	バドミントンチーム対抗戦		
第8回	バドミントンチーム対抗戦		
第9回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第10回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第11回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第12回	ソフトバレーのゲーム		
第13回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第14回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第15回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第16回	筆記試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/01/19		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002034	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(バレーボール・バドミントン)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	熊野 晃三		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	熊野 晃三		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	熊野 晃三		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	L 1～L 4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kumano@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2階(体育教室)		
担当教員TEL/Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:20～12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	獲得しようとする技術が、どのように構成されているかということのを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していく。 獲得した技能をできるだけ試合の中で実践できるように努めていく。 技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養う。		
授業方法(学習指導法) /Method	体育館を中心に、各種目についての解説、ならびに技術習得を行う。 習得した技能を活かしながら、積極的にそれらが発現できるような試合を展開していく。		
授業内容/Class outline/Con	基本的なレクリエーションワークを実践する。 バレーボールのスパイク技術を習得する。スパイクを交えたゲームが展開できるようにする。 バドミントンの基本的なルールおよび技術を習得する。戦術を意識したゲームが展開できるようにする。 リーグ戦の対戦表が完成できるようにする。		
キーワード/Key word	生涯スポーツ、合理的な技術習得、スポーツ文化		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教材 : 必要に応じて授業計画にそったプリントを配布する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への取り組み方、および態度 : 20% 実技試験 : 40% 筆記試験 : 40% 全授業への出席を原則とし、実技試験、授業への参加状況、筆記試験などによって総合的に評価する。 ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。		
受講要件(履修条件) /Requirements	演習では、指定したユニフォームは特にはないが、動き易いスポーツウェアに着替えて出席すること。 屋内での授業実施に際しては、必ず、屋内用の体育館シューズを準備しておくこと。 イヤリングなどの装飾品は、はずしておくこと。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月29日 オリエンテーション (コース別演習のコース決定など)		
第2回	10月6日 演習1(レクリエーション)レクリエーションワークの解説と実習		
第3回	10月13日 演習2(バレーボール)技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス		
第4回	10月20日 演習3 " アンダーハンドパス、スパイク		

第5回	1 0 月 2 7 日	演習 4	"	スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム
第6回	1 1 月 1 0 日	演習 5	"	異質グループによるゲーム
第7回	1 1 月 1 7 日	演習 6	"	異質グループによるゲーム
第8回	1 1 月 2 4 日	演習 7	"	ソフトバレーボール
第9回	1 2 月 1 日	演習 8	(バドミントン)	解説と基本ストローク
第10回	1 2 月 1 5 日	演習 9	"	シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦
第11回	1 2 月 2 2 日	演習10	"	等質グループによるリーグ戦
第12回	1 月 5 日	演習11	"	等質グループによるリーグ戦
第13回	1 月 1 2 日	演習12	"	等質グループによるリーグ戦
第14回	1 月 1 9 日	演習13	"	ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦
第15回	1 月 2 6 日	演習14	"	等質グループによるリーグ戦
第16回	2 月 2 日	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002035	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(テニス・卓球他)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山内 正毅		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山内 正毅		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山内 正毅		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Object Student	L 1 ~ L 4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamauchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館 1 階109		
担当教員TEL/Tel	095-819-2356		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる		
授業到達目標/Goal	・教材として取り上げた体づくり運動やスポーツの技能の自立的な実践方法を獲得する。 ・運動・スポーツと健康との関わりを理解し、運動量と主観的運動強度、心拍数(HR)、エネルギー消費量等の関係を自覚する。		
授業方法(学習指導法) /Method	硬式テニスや卓球を教材としてラケットスポーツの特徴を知り、楽しさや技能を獲得するとともに、ウォーキングやジョギングを含めて運動量と自分の体力との関係を知る。半期を通じて運動・スポーツとからだや健康に関する教養教育を行う。 テニス、卓球等の学習内容は天候や場所の都合で順序が変更になる場合がある。		
授業内容/Class outline/Con	現代社会における心身のコンディショニングの重要性やメカニズムを理解し、それらに対する運動やスポーツの関わり方、実践方法などを硬式テニスや卓球の教材を用いて演習する。		
キーワード/Key word	テニス、卓球、主観的運動強度、QOL		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	必要な資料はプリントして配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への参加状況と取り組みの意欲(50%)、技術の上達(10%)、理解度(最後にレポートの提出、40%)など総合的に評価する。ただし、全期間の欠席が2回を越える場合には原則として失格となる。		
受講要件(履修条件) /Requirements	服装等、ルールに従い、クラスの成員と協力しあうこと。体調を自己管理し、欠席しなくていいようにすることも本授業の内容にかかわってくるのでこの点も注意すること。		
学生へのメッセージ/Message for students	学生へのメッセージ：授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	自分の体力を知る。運動強度の変化(例、通常の歩行スピード、速歩、軽いジョギング)によって、心拍数、主観的運動強度、エネルギー消費量、などがどのように変化するかを測定、記録する。以後数回、心拍数やエネルギー消費量を測定し、その各自のデータをもとにレポートを提出する。		
第3回	卓球(屋内)技能チェック 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ		
第4回	卓球(屋内)(カロリーカウンター 使用) 練習計画を立て、卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ		

第5回	卓球（屋内） 練習計画を立て、卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
第6回	卓球（屋内） 練習計画を立て、卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
第7回	卓球（屋内）（カロリーカウンター 使用） 練習計画を立て、卓球の基本的な技能を学習しながらゲームができるようにする。運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
第8回	卓球（屋内）技能チェック 練習計画を立て、卓球の基本的な技能を学習しながらゲームができるようにする。
第9回	テニス（演習、実技）（カロリーカウンター 使用） テニスの基本的なマナーやルールを知り、ラケットやボールのコントロールに慣れる。自分の技能レベルの確認 技能チェック
第10回	テニス（演習、実技） テニスの基本的な技能を学習する。ボールの位置とプレーヤーの位置関係、腕の延長であるラケットとボールとの位置感覚、ダイレクトでボールを捕らえる感覚とワンバウンドでボールをとらえる感覚の違いを身につける カロリーカウンターによるエネルギー消費量の測定
第11回	テニス（演習、実技） フォアハンド、バックハンドストロークの連続した動きを確認し、学習する
第12回	テニス（演習、実技） フォアハンド、バックハンドストロークの連続した動きを確認し、ボレーの技術を学習する カロリーカウンターによるエネルギー消費量の測定
第13回	テニス（演習、実技） サーブとそのレシーブ、スマッシュの動きを学習する ゲームへ挑戦
第14回	テニス（演習、実技） サーブとそのレシーブ、スマッシュの動きを学習する ゲームへ挑戦
第15回	テニス（演習、実技） ゲームの組み立て、動きを考えて試合をする
第16回	技能チェックと総合評価

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002036	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(アルティメット・ソフトバレー)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	飛奈 美耶子		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	L 1～L 4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tobimiyako@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2F体育教官室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	アルティメット・ソフトバレーの基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。		
授業方法(学習指導法) /Method	アルティメットとソフトバレーの基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展・戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加 50％ 授業への取り組み方 20％ 筆記試験及び技術の上達度 30％ ただし、欠席が3回以上の者は失格とする。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	フライングディスクの基本動作の習得		
第3回	フライングディスクの基本動作の習得		
第4回	フライングディスクの基本動作の習得		
第5回	アルティメットのミニゲーム		
第6回	アルティメットチーム対抗戦		
第7回	アルティメットチーム対抗戦		
第8回	アルティメットチーム対抗戦		
第9回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第10回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第11回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第12回	ソフトバレーのゲーム		
第13回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第14回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第15回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第16回	筆記試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/01/19		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002037	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(バレーボール・バドミントン)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	熊野 晃三		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	熊野 晃三		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	熊野 晃三		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	L 5・L 6・P 1・P 2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kumano@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館 2 階(体育教室)		
担当教員TEL/Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12：20～12：50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお 3 回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	獲得しようとする技術が、どのように構成されているかということのを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していく。 獲得した技能をできるだけ試合の中で実践できるように努めていく。 技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養う。		
授業方法(学習指導法) /Method	体育館を中心に、各種目についての解説、ならびに技術習得を行う。 習得した技能を活かしながら、積極的にそれらが発現できるような試合を展開していく。		
授業内容/Class outline/Con	基本的なレクリエーションワークを実践する。 バレーボールのスパイク技術を習得する。スパイクを交えたゲームが展開できるようにする。 バドミントンの基本的なルールおよび技術を習得する。戦術を意識したゲームが展開できるようにする。 リーグ戦の対戦表が完成できるようにする。		
キーワード/Key word	生涯スポーツ、合理的な技術習得、スポーツ文化		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教材：必要に応じて授業計画にそったプリントを配布する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への取り組み方、および態度：20％ 実技試験：40％ 筆記試験：40％ 全授業への出席を原則とし、実技試験、授業への参加状況、筆記試験などによって総合的に評価する。 ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。		
受講要件(履修条件) /Requirements	演習では、指定したユニフォームは特にはないが、動き易いスポーツウェアに着替えて出席すること。 屋内での授業実施に際しては、必ず、屋内用の体育館シューズを準備しておくこと。 イヤリングなどの装飾品は、はずしておくこと。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月29日 オリエンテーション (コース別演習のコース決定など)		
第2回	10月6日 演習1(レクリエーション)レクリエーションワークの解説と実習		
第3回	10月13日 演習2(バレーボール)技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス		
第4回	10月20日 演習3 " アンダーハンドパス、スパイク		

第5回	1 0 月 2 7 日	演習 4	"	スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム
第6回	1 1 月 1 0 日	演習 5	"	異質グループによるゲーム
第7回	1 1 月 1 7 日	演習 6	"	異質グループによるゲーム
第8回	1 1 月 2 4 日	演習 7	"	ソフトバレーボール
第9回	1 2 月 1 日	演習 8	(バドミントン)	解説と基本ストローク
第10回	1 2 月 1 5 日	演習 9	"	シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦
第11回	1 2 月 2 2 日	演習10	"	等質グループによるリーグ戦
第12回	1 月 5 日	演習11	"	等質グループによるリーグ戦
第13回	1 月 1 2 日	演習12	"	等質グループによるリーグ戦
第14回	1 月 1 9 日	演習13	"	ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦
第15回	1 月 2 6 日	演習14	"	等質グループによるリーグ戦
第16回	2 月 2 日	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002038	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(サッカー)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 浩二		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 浩二		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 浩二		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	L 5・L 6、P 1・P 2		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部・本館110研究室		
担当教員TEL/Tel	2358		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前予約のこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化, ルール, 技術を習得し, 生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ, 実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが, 内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	・自己及びチームの課題を発見し, 練習計画表を作成することができる。 ・ルールや戦術を理解し, チームや個々の技能の特性を生かしてゲームができる戦術を考えることができる。 ・チームメイトと討論し, 自己及びチームの課題を計画表として作成し, 練習及びゲームを実践することができる。		
授業方法(学習指導法) /Method	・このクラスでは, サッカーの知識・理論を学習し, 技術・戦術を実践的に習得するが, ための思考能力と方法的能力を育成する。授業は男女共習のチーム学習の形態で行い, チームごとに学習内容を「計画」し「実践」する。その後「ふりかえり」を行い, チーム内での課題の発見とその解決について検討する。 ・毎時間チームごとに学習内容を計画しながら実践する。計画した内容をゲーム等で実践することによって, サッカーの基礎的技術を習得し, ルールや戦術の理解を深める。受講者にはチームや自己に対する理性的な評価・批判と主体的な態度・意欲が求められる。授業ごとに毎回作成される計画表は, 授業後に提出し, 評価を受けた後に次の立案者に渡される。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	スポーツ文化としてのサッカー, 他者との運動実践, 行為的省察		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	以下の割合で総合的に評価し, 60%以上の評点を合格とする。 欠席が3回以上の者, 試験を受験しない者は失格とする。 (評価の割合) 授業に対する積極的な取り組み10% 計画表25% 個人技能・集団技能(練習やゲームの内容をチーム毎に評価する)25% 筆記試験40%		
受講要件(履修条件) /Requirements			
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう, チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう, 楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(クラス分け)		
第2回	グルーピング, 授業展開方法の説明, 軽度の運動		
第3回	グループ学習1(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) ・ボールフィーリング(タッチ・リフト・ターン)の学習		

第4回	グループ学習 2（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・ドリブル及びシュートの学習
第5回	グループ学習 3（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・トラップ及びルール（オフサイド）の学習
第6回	グループ学習 4（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・キック三種（インサイド、インステップ、アウトサイド）の学習 ・パス（1対1，多対多）の学習
第7回	グループ学習 5（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・オフENSE及びディフェンス（1対1）の学習
第8回	グループ学習 6（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・オフENSE及びディフェンス（2対1，2対2）の学習
第9回	グループ学習 7（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・オフENSE及びディフェンス（3人以上対3人以上）の学習
第10回	グループ学習 8（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・チームで採用する戦術の学習
第11回	グループ学習 9（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・チームで採用する戦術の学習
第12回	グループ学習 10（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・チームに必要な技術の強化
第13回	グループ学習 11（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・チームに必要な技術の強化
第14回	グループ学習 12（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・総合的な練習
第15回	グループ学習 13（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・総合的な練習
第16回	試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002039	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(卓球・ソフトバレー)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	飛奈 美耶子		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	L 5、L 6、P 1、P 2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tobimiyako@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2F体育教官室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	卓球・ソフトバレーの基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。		
授業方法(学習指導法) /Method	卓球とソフトバレーの基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展・戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方 20% 筆記試験及び技術の上達度 30% ただし、欠席が3回以上の者は失格とする。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	卓球の各ショットの習得		
第3回	卓球の各ショットの習得		
第4回	卓球のダブルスゲーム		
第5回	卓球のシングルスゲーム		
第6回	卓球チーム対抗戦		
第7回	卓球チーム対抗戦		
第8回	卓球チーム対抗戦		
第9回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第10回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第11回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第12回	ソフトバレーのゲーム		
第13回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第14回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第15回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第16回	筆記試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002040	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(球技スポーツ)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤木 賢二		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤木 賢二		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤木 賢二		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Object Student	D1・D2、F1～F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2F(体育教官室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお、3回欠席すると、原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。		
授業方法(学習指導法) / Method	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要) ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度 40%、チームへの貢献 10%、技術上達 10%、試験(運動効果の理解30%、ルール等の理解10%)。 全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。		
受講要件(履修条件) / Requirements			
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月30日 オリエンテーション(種目の決定、授業の概要説明など)		
第2回	10月7日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習		
第3回	10月14日 ソフトボール ゲーム		
第4回	10月21日 ソフトボール ゲーム		
第5回	10月28日 ソフトボール ゲーム		
第6回	11月4日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク(フォアハンド、バックハンド)		
第7回	11月11日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ		
第8回	11月18日 テニス ゲーム(ダブルス)		
第9回	11月25日 テニス ゲーム(ダブルス、シングルス)		
第10回	12月2日 テニス ゲーム(シングルス)		
第11回	12月9日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム		
第12回	12月16日 サッカー ゲーム		
第13回	1月6日 サッカー ゲーム		

第14回	1月13日 サッカー ゲーム
第15回	1月20日 サッカー ゲーム
第16回	1月27日 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002041	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(バドミントン・バレーボール)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	府内 勇希		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	D 1・D 2、F 1～F 3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館(2階体育教員室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	(バレーボール) 基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 (バドミントン) 基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせでシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業方法(学習指導法) /Method	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業内容/Class outline/Con	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。 バレーボールとバドミントンの順序が変わる可能性があります。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキストは使用しない。必要に応じて資料や視聴覚教材を使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度：40%、技能評価30%、定期試験30%		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム		
第3回	バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム		
第4回	バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム		
第5回	バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム		
第6回	アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール		
第7回	アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール		
第8回	バレーボール：ゲームと技能評価		
第9回	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム		
第10回	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム		
第11回	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム		
第12回	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム		
第13回	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン		
第14回	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン		
第15回	バドミントン：ゲームと技能評価		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002042	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(バスケットボール・卓球)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小原 達朗		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小原 達朗		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小原 達朗		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	D 1・D 2、F 1～F 3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	labo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部252室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2294		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日17:00～17:45		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯のわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格となる。		
授業到達目標/Goal	演習で取り上げた課題を理解し、実践できること、バスケットと卓球のスポーツ実践が受講者間で支障なくできること。		
授業方法(学習指導法) /Method	本授業では、スポーツの実践とスポーツを行う身体についてレクチャー及び演習をとおしてりかいすることを目指している。従って、授業の前段の演習と後段のスポーツ実践によって進める。		
授業内容/Class outline/Con	バスケットと卓球のルールや基本技術・戦術を理解し、技能の向上が図れるように毎時間評価を加えながら実践的に実施する。基本的にはチームやパートに分かれてゲームを中心に実施する。		
キーワード/Key word	体力増進、健康維持、スポーツ、実践方法		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は不要。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	1.授業に対する積極的な参加度(配点60%) 2.演習の内容が実践的に到達目標に達していること(配点20%) 3.平常の活動の評価(配点20%) 4.欠席が3回以上の者は失格とする		
受講要件(履修条件) /Requirements	特になし		
学生へのメッセージ/Message for students	授業に出る場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月30日 オリエンテーション、班分け、ねらい、授業方法、チーム編成		
第2回	10月7日 バスケット(プレマッチ)、チーム再編成		
第3回	10月14日 バスケット(リーグ戦1回目)		
第4回	10月21日 バスケット(リーグ戦2回目)		
第5回	10月28日 バスケット(リーグ戦3回目)		
第6回	11月4日 バスケット(リーグ戦4回目)		
第7回	11月11日 バスケット(リーグ戦5回目)		
第8回	11月18日 バスケット(リーグ戦6回目)		
第9回	11月25日 ウェイトトレーニングの理論と実践、卓球(プレマッチ)		
第10回	12月2日 卓球(リーグ戦1回目)		
第11回	12月9日 卓球(リーグ戦2回目)		
第12回	12月16日 卓球(リーグ戦3回目)		

第13回	1月6日 卓球（リーグ戦4回目）
第14回	1月13日 卓球（リーグ戦5回目）
第15回	1月20日 卓球（ダブルス）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002043	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(球技スポーツ)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤木 賢二		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤木 賢二		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤木 賢二		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M6、T7～T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2F(体育教官室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお、3回欠席すると、原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。		
授業方法(学習指導法) /Method	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要) ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度 40%、チームへの貢献 10%、技術上達 10%、試験(運動効果の理解30%、ルール等の理解10%)。 全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。		
受講要件(履修条件) /Requirements			
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月30日 オリエンテーション(種目の決定、授業の概要説明など)		
第2回	10月7日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習		
第3回	10月14日 ソフトボール ゲーム		
第4回	10月21日 ソフトボール ゲーム		
第5回	10月28日 ソフトボール ゲーム		
第6回	11月4日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク(フォアハンド、バックハンド)		
第7回	11月11日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ		
第8回	11月18日 テニス ゲーム(ダブルス)		
第9回	11月25日 テニス ゲーム(ダブルス、シングルス)		
第10回	12月2日 テニス ゲーム(シングルス)		
第11回	12月9日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム		
第12回	12月16日 サッカー ゲーム		
第13回	1月6日 サッカー ゲーム		

第14回	1月13日 サッカー ゲーム
第15回	1月20日 サッカー ゲーム
第16回	1月27日 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002044	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(バドミントン・バレーボール)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	府内 勇希		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M 6、T 7～T 10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館(2階体育教員室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	(バレーボール) 基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 (バドミントン) 基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせでシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業方法(学習指導法) /Method	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業内容/Class outline/Con	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。 バレーボールとバドミントンの順序が変わる可能性があります。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキストは使用しない。必要に応じて資料や視聴覚教材を使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度：40%、技能評価30%、定期試験30%		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム		
第3回	バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム		
第4回	バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム		
第5回	バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム		
第6回	アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール		
第7回	アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール		
第8回	バレーボール：ゲームと技能評価		
第9回	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム		
第10回	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム		
第11回	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム		
第12回	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム		
第13回	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン		
第14回	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン		
第15回	バドミントン：ゲームと技能評価		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/01/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002045	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 志保		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M6,T7-T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館 2 F 体育教員室		
担当教員TEL/Tel	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週水曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法(学習指導法) /Method	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容/Class outline/Con	本授業では、ダンス(主にストリートダンス)の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチと筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それまでに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作品を発表する。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は用いない。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の積極的な態度(40%)、技能テスト(30%)、定期試験(30%)を総合的に考慮して評価する。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(授業の進め方、注意事項等の説明)		
第2回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第3回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第4回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第5回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第6回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第7回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、技能テスト		
第8回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作(グループ分け、創作のすすめ方等の説明)		
第9回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第10回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第11回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第12回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第13回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		

第14回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第15回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第16回	定期試験（創作作品発表）

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002046	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(球技スポーツ)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤木 賢二		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤木 賢二		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤木 賢二		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M1～M3、T1・T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2F(体育教官室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお、3回欠席すると、原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。		
授業方法(学習指導法) /Method	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要) ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度 40%、チームへの貢献 10%、技術上達 10%、試験(運動効果の理解30%、ルール等の理解10%)。 全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。		
受講要件(履修条件) /Requirements			
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月30日 オリエンテーション(種目の決定、授業の概要説明など)		
第2回	10月7日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習		
第3回	10月14日 ソフトボール ゲーム		
第4回	10月21日 ソフトボール ゲーム		
第5回	10月28日 ソフトボール ゲーム		
第6回	11月4日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク(フォアハンド、バックハンド)		
第7回	11月11日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ		
第8回	11月18日 テニス ゲーム(ダブルス)		
第9回	11月25日 テニス ゲーム(ダブルス、シングルス)		
第10回	12月2日 テニス ゲーム(シングルス)		
第11回	12月9日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム		
第12回	12月16日 サッカー ゲーム		
第13回	1月6日 サッカー ゲーム		

第14回	1月13日 サッカー ゲーム
第15回	1月20日 サッカー ゲーム
第16回	1月27日 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002047	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(バドミントン・バレーボール)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	府内 勇希		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M1～M3、T1・T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館(2階体育教員室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	(バレーボール) 基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 (バドミントン) 基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせでシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業方法(学習指導法) /Method	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業内容/Class outline/Con	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。 バレーボールとバドミントンの順序が変わる可能性があります。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキストは使用しない。必要に応じて資料や視聴覚教材を使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度：40%、技能評価30%、定期試験30%		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム		
第3回	バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム		
第4回	バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム		
第5回	バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム		
第6回	アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール		
第7回	アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール		
第8回	バレーボール：ゲームと技能評価		
第9回	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム		
第10回	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム		
第11回	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム		
第12回	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム		
第13回	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン		
第14回	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン		
第15回	バドミントン：ゲームと技能評価		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/01/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002048	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ダンス)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	河合 史菜		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	河合 史菜		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	河合 史菜		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M1～M3,T1・T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fuminakawai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育本館108研究室		
担当教員TEL/Tel	2355(内線)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前に相談すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	ダンスの基礎的な身体の使い方を理解し、人と関わることや踊ることの楽しさを知ることができる。 様々な運動プログラムを通して健康・体力づくりの方法を理解し、継続して体を動かす習慣を身につけることができる。 最終的には授業内で習得した技法を生かして小作品創作に挑戦し、発表できるようにする。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業では、ストレッチ法を紹介しながら筋力・柔軟性アップを図ると共に、様々なダンスの基本テクニックを用いて他者と関わり踊る楽しさを体験する。また後半では振付を覚えて踊ることや、小作品を創作するなど表現する楽しさを味わう。		
授業内容/Class outline/Con	前半は呼吸を大切にしながら心身を整え、後半では多様なダンスに触れながら友達と関わり合い体を動かしていく。最終的には学んだ動きを組み合わせる、独自に動きを考えるなどして作品創作を行う。		
キーワード/Key word	ダンス、ストレッチ、創作		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	欠席が3回以上の者は失格とする。 授業に対する積極性40% 創作作品への取り組み、完成度 35% レポート15% その他表現力・創作能力など総合的に判断し評価する。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びダンスが身体に及ぼす影響などについてもそのつど説明する。 初心者・経験者大歓迎。他者を観察し、良い動き・面白い動きを積極的に発見しましょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	ストレッチ法とボディコントロール		
第3回	ストレッチ法とボディコントロール		
第4回	リズム系ダンスの基本テクニックやステップ		
第5回	リズム系ダンスの基本テクニックやステップ		
第6回	リズム系ダンスの基本テクニックやステップ		
第7回	コミュニケーションダンス		

第8回	コミュニケーションダンス
第9回	動きのレパートリーを増やそう～物を使ったダンス～
第10回	動きのレパートリーを増やそう～物を使ったダンス～
第11回	動きのレパートリーを増やそう～言葉を組み合わせて創るダンス～
第12回	グループ作品創作
第13回	グループ作品創作
第14回	グループ作品創作
第15回	グループ作品創作
第16回	グループ作品発表会

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150562002049	科目番号 / Subject code	05620020	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ニュースポーツ)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	渡邊 勝平			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	渡邊 勝平			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	渡邊 勝平			
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room				
対象学生(クラス等) /Object Student	M 5、T 3～T 6			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chosho-wata@hotmail.co.jp			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2階体育教官室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:00～12:50			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。			
授業到達目標/Goal	スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。			
授業方法(学習指導法) /Method	様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。			
授業内容/Class outline/Con				
キーワード/Key word	ニュースポーツ・生涯スポーツ			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度(60%) 筆記試験(40%) 全期間の欠席が3回以上の場合は原則的に失格となる。			
受講要件(履修条件) /Requirements				
学生へのメッセージ/Message for students	授業出席時は少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。 これまであまり経験のないと思われる様々なニュースポーツを体験し、生涯スポーツへ繋がればと思います。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	10月1日 オリエンテーション			
第2回	10月8日 アルティメット			
第3回	10月15日 アルティメット			
第4回	10月22日 アルティメット			
第5回	10月29日 アルティメット			
第6回	11月5日 グラウンドゴルフ			
第7回	11月12日 フットサル・キックベースボール			
第8回	11月19日 ラージボール卓球			
第9回	11月26日 インディアカ			
第10回	12月3日 インディアカ			
第11回	12月10日 インディアカ			
第12回	12月17日 ソフトバレー			
第13回	1月7日 ソフトバレー			

第14回	1月14日 ミニテニス
第15回	1月28日 ニュースポーツの考案
第16回	2月4日 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002050	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 志保		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M5,T3-T6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館 2 F 体育教員室		
担当教員TEL/Tel	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週木曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法(学習指導法) /Method	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容/Class outline/Con	本授業では、ダンス(主にストリートダンス)の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチと筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それまでに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作品を発表する。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は用いない。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の積極的な態度(40%)、技能テスト(30%)、定期試験(30%)を総合的に考慮して評価する。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(授業の進め方、注意事項等の説明)		
第2回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第3回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第4回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第5回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第6回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第7回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、技能テスト		
第8回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作(グループ分け、創作のすすめ方等の説明)		
第9回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第10回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第11回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第12回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第13回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		

第14回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第15回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第16回	定期試験（創作作品発表）

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002051	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(テニス・ソフトバレー)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	飛奈 美耶子		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M 5、T 3～T 6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tobimiyako@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2F体育教官室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	テニス・ソフトバレーの基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。		
授業方法(学習指導法) /Method	テニスとソフトバレーの基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展・戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方 20% 筆記試験及び技術の上達度 30% ただし、欠席が3回以上の者は失格とする。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	テニスの各ショットの習得		
第3回	テニスの各ショットの習得		
第4回	テニスのダブルスゲーム		
第5回	テニスのシングルスゲーム		
第6回	テニスチーム対抗戦		
第7回	テニスチーム対抗戦		
第8回	テニスチーム対抗戦		
第9回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第10回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第11回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第12回	ソフトバレーのゲーム		
第13回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第14回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第15回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第16回	筆記試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002052	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ニュースポーツ)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	渡邊 勝平		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	渡邊 勝平		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	渡邊 勝平		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M 4、K 1～K 3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	choshu-wata@hotmail.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2階体育教官室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:00～12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。		
授業方法(学習指導法) /Method	様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	ニュースポーツ・生涯スポーツ		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加態度(60%) 筆記試験(40%) 全期間の欠席が3回以上の場合は原則的に失格となる。		
受講要件(履修条件) /Requirements			
学生へのメッセージ/Message for students	授業出席時は少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。 これまであまり経験のないと思われる様々なニュースポーツの体験により、生涯スポーツへ繋がればと思います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10月1日 オリエンテーション		
第2回	10月8日 アルティメット		
第3回	10月15日 アルティメット		
第4回	10月22日 アルティメット		
第5回	10月29日 アルティメット		
第6回	11月5日 グラウンドゴルフ		
第7回	11月12日 フットサル・キックベースボール		
第8回	11月19日 ラージボール卓球		
第9回	11月26日 インディアカ		
第10回	12月3日 インディアカ		
第11回	12月10日 インディアカ		
第12回	12月17日 ソフトバレー		
第13回	1月7日 ソフトバレー		

第14回	1月14日 ミニテニス
第15回	1月28日 ニュースポーツの考案
第16回	2月4日 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002053	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 志保		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M4,K1-K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館 2 F 体育教員室		
担当教員TEL/Tel	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法(学習指導法) /Method	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容/Class outline/Con	本授業では、ダンス(主にストリートダンス)の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチと筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それまでに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作品を発表する。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は用いない。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の積極的な態度(40%)、技能テスト(30%)、定期試験(30%)を総合的に考慮して評価する。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(授業の進め方、注意事項等の説明)		
第2回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第3回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第4回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第5回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第6回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、振付		
第7回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、技能テスト		
第8回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作 (グループ分け、創作のすすめ方等の説明)		
第9回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第10回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第11回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第12回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		
第13回	ウォームアップ(ストレッチ・筋トレ)、基本テクニク、グループ創作		

第14回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第15回	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック、グループ創作
第16回	定期試験（創作作品発表）

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150562002054	科目番号 / Subject code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●スポーツ演習(テニス・ソフトバレー)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	飛奈 美耶子		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Object Student	M 4、K 1～K 3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tobimiyako@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合体育館2F体育教官室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Goal	テニス・ソフトバレーの基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。		
授業方法(学習指導法) /Method	テニスとソフトバレーの基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展・戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業に対する積極的な参加 50％ 授業への取り組み方 20％ 筆記試験及び技術の上達度 30％ ただし、欠席が3回以上の者は失格とする。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	テニスの各ショットの習得		
第3回	テニスの各ショットの習得		
第4回	テニスのダブルスゲーム		
第5回	テニスのシングルスゲーム		
第6回	テニスチーム対抗戦		
第7回	テニスチーム対抗戦		
第8回	テニスチーム対抗戦		
第9回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第10回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第11回	ソフトバレーの基本動作の習得		
第12回	ソフトバレーのゲーム		
第13回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第14回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第15回	ソフトバレーチーム対抗戦		
第16回	筆記試験		